



梅雨を吹き飛ばす 子ども達の歓声

Enjoy 七夕



お久しぶりです

昨年から名称変更した夏の子ども向けイベント『Enjoy!七夕』を7月3日(土)に開催しました。

集まった20名の子ども達は、オリエンテーションの後、昨年はコロナ禍のため出来なかった「まき作り」を保護者と地域のボランティアと一緒にを行いました。

調理室で作り方の手順を聞いた後、予め丸めてあったお団子を手のひら大に伸ばし、「あんこ」をのせて包み込みました。中にはうまく包めなくて「あんこ

がはみ出してしまった子もいました。小さな子どもたちもお母さんの手を借りて、上手にサルトリイバラの葉で包むことが出来ました。



アツという間に包み終えた子ども達は達成感で満面の笑みを浮かべゲーム会場の体育館へ向かいました。

体育館では4チームに分かれ、ボールを使った3種類のゲームで得点を競いました。蒸し暑い中でしたが、体育館中に隠された160個のボール探しや指定された数の色や形のボールを正確に早く集めたり、バドミントンのラケットにボールを乗せて走ったり、的に入れたり



元気に走り回ってゲームごとの得点に一喜一憂しました。その後、外に出て一番のお楽しみ「水鉄砲でお菓子



をねらおう!」に挑戦です。番号の書かれたゼリーをつるした和紙を狙って大きな水鉄砲で打ち、番号の景



品と交換して満足そうな笑顔があふれました。ゲームをしている間に蒸し上がった温かい「まき」の

パックを嬉しそうに大事に抱えて持ち帰りました。お家におられるご家族の方に良いお土産になったことでしょう。



梅雨の大雨の前に「連合自治会」 『防災セミナー』を開催

梅雨半ばの6月27日(日)、沢谷体育館に日本赤十字社島根県支部から講師を迎え、連合自治会主催の「防災セミナー」が開催されました。

災害時に自分や家族そして近隣住民の命を守る「自助・共助」の知識を学ぶことを目的に開催したセミナーで、連合自治会役員、防災士、防災委員、消防沢谷分団の役員など20名の参加がありました。

近年、広島県や岡山県などで局地的な大雨による大規模な土石流などが発生し、尊い命が失われる災害は記憶に新しいところです。

沢谷地域においても「土砂災害ハザードマップ」を広げると、ほとんどの地域が警戒区域に指定されています。

普段から災害への備えを準備し、災害の発生が予測される時は、町から出される避難情報などに従い、命を守るための行動をとることの大切さを学びました。

また、感染症流行時の避難所での対策や意識すべきことなども具体的に説明していただきました。



静岡県熱海市で起きた土石流災害、そして今月12日に島根県を襲った大雨で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

地域の見守り「沢谷青パト隊」 『青パト隊講習会』を開催

沢谷青色防犯パトロール隊(略して「青パト隊」田邊 積隊長)の講習会が6月28日(月)夕方に沢谷体育館で開催されました。

当日は、登校時の立哨など安全な地域づくりに活動いただいている隊員22名が、青パト隊の目的や緊急事案等への対応などのDVDを視聴した後、川本警察署の署員さんからパトロールによる効果などのお話を聞きました。

犯罪を未然に防ぐには、①音、②光、③人の目が大きな効果を発揮するそう、青パト隊の活動は防犯に大きな効果があるようです。

現在、30名の隊員の皆さんが、登校時のみならず、車両での巡回や毎月の一斉行動などにご尽力いただいていることに深く感謝いたします。



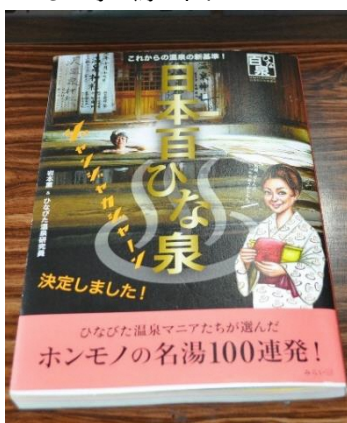
全国ランキング 第一位 千原温泉 湯谷湯治場

聞きなれない名前ながら、何か親しみのある響き「日本ひなびた温泉研究所」。今回、その研究所から全国のひなびた名湯100湯を選定した著書『日本百ひな泉』が発行されました。

日本全国の魅力あるひなびた温泉の中で、なんと!「千原温泉 湯谷湯治場」が第一位にランクされ、本の中で堂々4ページに渡って紹介されているのです。その他、美郷町からは、湯抱温泉、大田市からは小屋原温泉など3温泉がランクインしていました。

紹介されている温泉いずれも素晴らしい温泉ばかりで、本を眺めていると無性に温泉に入りたくなります。

その中で、栄えある第一位に輝かれたことは沢谷住民としてとても誇らしく思いました。



みどりの風

犯罪や非行のない地域社会づくりをテーマに保護司会が募集された作文の中で、大和中学校3年の石川音羽(おとは)さんの作文が邑智地区保護司会会長賞を受けられ、「保護司会だより」に載っていましたので紹介します。

少し長いですがお読みいただくと幸いです。

「ふつう」って何？

「ふつう」ってなんだろう？

私がこんな疑問を持つようになったきっかけは、去年中学校で行われた第三回人権講演会だった。テーマは「LGBT」。「LGBT」というのは、性的少数者のことを差す。Lはレズビアン(女性同性愛者)、Gはゲイ(男性同性愛者)、Bはバイセクシャル(両性愛者)、Tはトランスジェンダー(身体的な性と性自認の不一致)を意味するのだそうだ。講演会で講師として来られたのは、公認心理士・臨床心理士であり、早稲田大学のスチューデントダイバーシティセンターの職員として働かれています大賀一樹さん。大賀一樹さんは、幼いころから自身の性別に違和感を覚えたのだという。それは「男性でも、女性でもない。」というもの。男女のどちらでもない性別を表す「Xジェンダー」という言葉を二十歳の時に知り、自らのセクシャリティを認識したのだそうだ。

この人権講演会で、私は初めて「LGBT」という言葉を聞いた。それまで知る機会もなく、「LGBT」という言葉は勿論、「LGBT」に収まらない、大賀さんのXジェンダーのようなジェンダーやセクシャリティについても、聞いたこともなければ考えたこともなかった。講演の中で大賀さんは、自分のセクシャリティのこと、「LGBT」以外にもたくさんある多様なセクシャリティのこと、それで苦労すること、どう受け止めるべきかなど、色々な話をして下さった。同時に「女っぽい」「男らしくない」といじめられ苦しんできた体験についても話された。その講演のタイトルこそが、「ふつうってなんだろう？」だった。

「ふつう」という言葉は、私たちが当たり前に使う言葉だ。私自身もよく使う。「これふつうに出来るじゃん」。「この人、ふつうにかわいい」。「ふつう、こうだよね」。色々な場面で「ふつう」という言葉を見聞きし、使っている。けれど、世の中では「この人はふつうじゃないから」と言っていて、いじめや差別をする。けれど、ふつうの人とはどんな人のことだろう。ふつうじゃない人とは、どんな人のことを言うのだろう、と私は疑問に思う。例えば「ふつうの男らしい」人とはどんな人のだろう。何が基準で、そうでないことで何が問題なのだろう。「ふつうじゃない」といじめたり差別したりする人の言う「ふつう」は一体なんで、いじめたりするその人は「ふつう」ということになるのだろうか。いじめや差別は様々で、亡くなる人だっている。最近ニュースで話題になる、黒人の方への差別

や新型コロナウイルスの感染者が差別されることだってそうだ。いじめや差別は本当に怖い。一人一人の尊い人生があるのに、それらを奪ってしまう。よくわからない「ふつう」によっていじめや差別が起るなんて、本当にいいのだろうか。私は、いじめや差別なんて無くなってほしいと、心から思う。

私は、人権講演会で「LGBT」や多様なジェンダーやセクシャリティについて知ることが出来て良かったと思う。これからたくさんの人と出会う中で、大賀一樹さんのような人に出会うことだってあるかもしれないからだ。世の中にはたくさんの人がいて、国や地域によって、性別によって、考えによって一人一人違う個性を持っている。みんな一人一人、意見や考え、思いが違ってよいのだと私は思う。「自分とは違うから」。「ふつうじゃないから」と攻撃したり遠ざけるのではなく、一人一人違う中で、相手の気持ちを考えること、お互いを尊重することこそが大切なのだと私は思う。お互いを尊重することは難しい。講演を聞くまで「LGBT」という言葉すらも知らずにいた私も「ふつう」という考えの中で、知らず知らずのうちに誰かを傷つけていたこともあるかもしれない。私自身も、今までやってきていたことを振り返り相手を尊重できるようにになりたい。今近くにいる人や、これから出会う人。一人一人違う多様な人それぞれとの接し方を考えながら、注意深く生活していきたいと思う。

邑智地区保護司会発行
『保護司会だより』より

お知らせ（交流センター・公民館・連合自治会）

◆『集まれ！沢谷っ子！夏を楽しもう！』を開催します（公民館・連合自治会から）

子ども達の夏休み期間に今年も「沢谷っ子！」を開催します。

開催日は、7月28日、8月4日・11日（いずれも水曜日）です。

※詳しくは、終業式までに小学校を通じて配布した案内文をご覧ください。

◆『ほのぼのサロン』を開催します（連合自治会から）

4月から開催している健康教室「ほのぼのサロン」を次のとおり開催します。

日時は、7月29日（木）午前9時半から11時頃まで

内容は、日向ぼっこ粘土を使った工作です。

申込みは、材料注文のため少し早めの7月21日（水）までに交流センターへ

◆沢谷交流センター周辺美化活動について（連合自治会・交流センターから）

今年度第2回目の沢谷交流センター周辺美化活動（統合小学校跡地管理）については次のとおりです。暑い中ですが、よろしくお願いいたします。

日時は、8月1日（日）午前7時から

担当地区は、千原、大野猿丸湯谷、石原、熊見の各自治会の皆さんです。

◆『シャワークライミング』が開催されます。（主催：沢谷河童レンジャー）

今年も沢谷川の自然を楽しむ「シャワークライミング」が開催されます。感染症対策や安全に配慮しながら実施されますのでお知らせします。

開催日は、7月31日（土）、8月7日（土）・8日（日）です。

◆沢谷地内『銀山街道草刈り』について（連合自治会）

雷雨のため延期しました「銀山街道草刈り」は、次の日程で実施する予定です。

日時は、11月21日（日）午前8時30分から

★行事予定（7/21～8/20）※現在、確定している予定のみ記載しています。

行 事	日 時	場 所
食生活改善推進委員地区別研修会	7/27（火） 9:00～	沢谷交流センター調理室
集まれ！沢谷っ子！夏を楽しもう！	7/28（水） 10:30～	沢谷交流センター全館・体育館
ほのぼのサロン	7/29（木） 9:30～	沢谷交流センター多目的室
シャワークライミング（沢登り）	7/31（土） 9:00～	沢谷交流センター全館・体育館
青パト隊一斉パトロール	8/1（日） 18:30～	沢谷交流センター広場
集まれ！沢谷っ子！夏を楽しもう！	8/4・11（水） 10:30～	沢谷交流センター全館・体育館
自治会輸送バス	8/5（木） 8:40～	（沢谷～飯南町）
ニコニコ健康教室	8/6（金） 13:30～	沢谷交流センター多目的室
シャワークライミング（沢登り）	8/7（土）・8（日） 9:00～	沢谷交流センター全館・体育館

沢谷地域の人口と世帯数（6月30日時点の住民基本台帳数値） ※（ ）内は前月増減
人口487人（-1）〔男性242人（-1）・女性245人（±0）〕 世帯214世帯（±0）

〒699-4712 美郷町九日市118番地 沢谷公民館発行 TEL：75-1920 FAX：76-0022